

令和6年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立佐賀農業高等学校
-----	--------------

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要	○ClassiやI C Tの有効活用の拡大・職員研修。 ○職員の働き改革に向けた業務等の見直しと意識改革。 ○学校の魅力発信やP R対策。
------------------	---

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	○歴史ある農業高校としての実績をもとに、これからの時代に求められる農業教育を探究する ○グローバルな視点と地域の人とのつながりを大切にしながら、「農・食・環境」に関する協働的な学びを通して、主体的に地域の課題を解決し、地域を支えていく人材を育成する
----------------------------	---

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	①農業や食品、環境に関する課題に関心があり、関連産業(しごと)に興味のある生徒 ②地元の文化や伝統に魅力を感じ、大切にしている生徒 ③他者を思いやり、共に協力して活動できる生徒 ④積極的に学習活動に取り組むことができる生徒 ⑤自分自身を高めるために努力を惜しまない生徒	①スローガン「汗をかき人と和して己を磨く」体験から学ぶ実践型教育 ②受け継いできた確かな専門知識と技術に基づいた総合実習の実践 ③グローバルな視野を広げるため、県内外・外国との交流事業の実践 ④総合的な探究の時間や課題研究におけるフィールドワークと課題解決型学習を強化 ⑤国際交流で必要とされる実践的な外国語の導入(英語・韓国語) ⑥専門教科指導の充実	①専門的知識と技術を兼ね備え、自ら時代とともに進化し続ける能力を育成する ②グローバル(地域性を考慮しながら地球規模の視点で考えて行動すること)な産業人材を育成する ③「農・食・環境」に関する地域課題の解決やSDGsの達成など、地域社会を支えリードする人材を育成する

4 本年度の重点目標	①主体的に学び、考える力を育む教育の充実【学力向上】 ②人権を尊重しながら人との絆を深めることができる心の教育を推進【心の教育の推進】 ③健康を考えて行動できる能力の育成【健康・体づくり】 ④特別支援教育の充実 ⑤志を高める教育 ⑥教育DXの推進
------------	--

5 重点取組内容・成果指標				中間評価		最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○生徒は基礎学力の向上と定着 ○教員は「わかる授業」・「主体的な学びを重視した授業」の展開	○「学びの時間」に主体的に取り組む生徒の割合を95%以上をめざす。(昨年93.6%) ○全生徒の年間平均ブチテスト得点率90%以上を継続する。(昨年度87.5%) ○わかる授業を意識した職員100%を目指す。		・学習用PCを使用したデジタル教材「Classi」の有効活用やその他のICTを活用し、各教科の連携と継続的な職員研修を推進する。 ・分掌・教科・学年団(正副担任)が連携して、クラス全体の学習意欲の喚起に努めるとともに、事後指導の充実・徹底を図る。 ・日々の授業の充実を図り、基礎・基本の定着のため職員・生徒が意欲的に取り組む。		・		・			
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○他者への「思いやり」や「優しさ」に配慮した言動をとる生徒100%をめざす(昨年94.7%)		・日々のHR活動や実習等を通して、命の大切さと他者への思いやりの心を育成する。 ・ボランティア活動における地域を含む色々な方々とのふれあいや、人権・同和教育に関する講演会やHRを通して、人間性豊かな生徒の育成を図る。 ・生徒が活躍の場をつくり、自己肯定感を高め、自信と		・		・			
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめは、「絶対に許されない」、「見逃さない」という意識を持つ生徒100%をめざす		・道徳教育・人権教育・強化月間を設定・情報モラル教育を推進する。 ・いじめは絶対許さないという環境づくりに努める。 ・職員と生徒間の信頼関係を形成し、傍観者の意味を理解させることで、随時情報収集できる環境を整備する。 ・相談しやすい環境を整え、日ごろから生徒の些細な変化も逃さず、職員・保護者で連携し、問題の早期発見と早期対応に努める。		・		・			
●健康・体づくり	●「健康を考えて行動できる能力の育成」	○健全な食習慣や生活習慣の大切さを生徒主体で啓発活動を実施し、「健康」について考えた行動ができた生徒80%を以上目指す。		・教室の換気、手洗いの励行等の生活習慣を保健委員の呼びかけにより健康を考えて行動する意識を持たせる。 ・保健だよりや生徒保健委員会の活動を通して、生徒の視点から、健康のために正しい食習慣や生活習慣がどのように大切であるかを啓発する。		・		・			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○ICTの活用とペーパーレスを推進し作業効率を高める。		・定時退勤日を週1回(水曜日)設け、また月1日以上の年休取得を推進する。 ・校務の整理や役割分担の明確化、行事の精選等に取り組む。 ・自らの働き方を振り返り効率化や時間外削減に向けて見直すように推進する。		・		・			
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する教員の専門性のスキルが向上したと回答した教員100%をめざす。		・特別支援教育に関する研修会の実施 ・生徒の指導方法・対応について教員間で情報共有を図る		・		・			
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者	
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○魅力ある学校・学科づくり	★グローバルな学びの推進 「地域農業を課題とする探究活動」並びに「コミュニケーションツールとしての英語力向上」を柱とする取組 ○各学科での特色ある取組の推進	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合95%以上、教職員の割合100%を目指す ○地域のことをよく知り、課題を踏まえた探究活動やプロジェクト研究活動に積極的に取り組む生徒の割合を90%以上をめざす		・実験、実習内容の工夫改善。 ・地域との交流を深め、農業や地域産業・関係機関との連携を図る。 ・スマート農業・地域との連携での商品開発・ドローンや3D測量解析など新技術の積極的な活用に努める。 ・総合的な探究の時間や課題研究におけるフィールドワークと課題解決型学習を強化を図る。 ・研究内容の更なる高度化、新たな課題の設定や目標達成に向けた学科職員の意識向上と共通化を図る。 ・グローバルな視野を広げるため、県内外・外国との交流事業の実践		・		・			
	○各学科での資格取得の推進と進路指導の充実	○資格取得者数の延べ600人以上をめざす ○生徒の希望進路実現100%を継続する。 ○県内外の優良企業への就職者の増、官公庁へ18名の就職、4年制大学農業系学部への6名以上の合格者をめざす		・講演会、学校行事・部活動を通し、生徒たちに目標に向かってチャレンジする気持ちを醸成する ・全職員で進路希望把握に努め、進路実現に向けた支援に取り組む。 ・外部機関との連携を強化し、さらなる専門的な学習への意欲向上を図る。		・		・			
○学校情報の発信	○様々な教育活動や学校情報を適宜発信し、学校のPRに努める。	○学校の情報を適宜発信する。 ・月1回以上の学校だよりを発行する。 ・HPの見直しと月1回以上の更新を行う。		・学校行事や各学科・学年の取り組みをまとめ、「学校だより」を月1回、関係中学校や保護者へ配布する。 ・HPの充実を図り、各学科、イベント等の報告を適宜行う。 ・パンフレット漫画版の更新を行う。		・		・			
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育 ★・・・唯一無二の誇り高き学校づくり											

6 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------